

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) J F E 鋼板株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 141-0032 東京都品川区大崎1丁目-11番2号 ゲートシティ大崎イーストタワー9階	
本票作成	部署名：玉島製造所 技術部 設備課				
主たる業種	分類コード	22	業種名：鉄鋼業		
事業の概要	溶融亜鉛めっき鋼板および鋼帯、各種塗装鋼板および鋼帯その他薄板の製造・販売 従業員数127名、製造所1、事業所1				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	玉島製造所		倉敷市玉島乙島8252-11	
	②	岡山営業所		岡山市北区中山下1丁目8番4号	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 2 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 27 年度)	(平成 30 )年度排出量	目標年度(平成 30 年度)
	33,996 t CO <sub>2</sub>	35,851 t CO <sub>2</sub>	32,976 t CO <sub>2</sub>
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 30 )年度排出量
	①	玉島製造所	35,851 t CO <sub>2</sub>
	②	岡山営業所	0 t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間：平成 28 年度 ～ 平成 30 年度 ( 3 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	( 30 )年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	5.9 %	3.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産量：290.9千t	原単位当たり排出量		
		基準年度	( 30 )年度	目標年度
		131.000 t CO <sub>2</sub> /(千t)	123.242 t CO <sub>2</sub> /(千t)	127.000 t CO <sub>2</sub> /(千t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 30 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

- ・省エネ法に基づき、エネルギー使用状況を月次で把握しながら、省エネ対策に取り組んだ。
- ・G L (55%アルミ-亜鉛) 溶解炉の保持温度を見直し追加低減 (-10℃) することで、電力削減することができた。
- ・従来は改修時期が予測困難だったG L溶解炉 (プリムポット) だったが、溶解炉に通電した際の電流値や、炉体温度センサーを埋め込み、温度上昇傾向を監視することで、より正確な改修判断ができるようになった。そのため、2019年3月に改修した際には、予め改修準備をしておくことで、溶解炉改修月にも関わらず、G L品種を13.5千ton生産 (過去平均6.4千ton) でき、原単位削減に寄与した。

**【推進体制】**

ISO14001環境マネジメントシステムに則り、製造所長を環境管理責任者、環境安全室長を環境管理推進者とし、省エネルギー項目をマネジメントプログラムに取り入れ、目標削減達成のための活動を推進した。

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
玉島製造所	<p>(平成30年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ GLポット寿命監視体制確立による改修時期見極め：3tCO2/ (千t) 削減 (改修月のGL生産量確保：13.5千ton、過去平均：6.4千ton)</li> <li>・ 各燃焼バーナの調整、補修による高効率化：200tCO2/年 削減</li> <li>・ GLプリメットポット保持温度低減による電力削減：114tCO2/年 削減</li> <li>・ 電気制御室空調機更新、他空調機更新：29tCO2/年 削減</li> <li>・ 天井照明設備の更新、LED化推進：3tCO2/年 削減</li> </ul> <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ エアコンプレッサ更新：209tCO2/年 削減</li> <li>・ リヒングフロア更新：212tCO2/年 削減</li> <li>・ 各燃焼バーナ調整、伝熱チューブ更新による高効率化：200tCO2/年 削減</li> <li>・ CCLコタ電動機交流化：100tCO2/年 削減</li> <li>・ 空調機器更新、照明設備LED化推進：30tCO2/年 削減</li> <li>・ ペーパーレス化の推進 (会議の集約、配布資料無し化)</li> </ul>

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

--